

# 腰痛改善 臨床編

## その4



## ❖はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## もくじ

1 : 治療した翌日は快調に！！ .....	4
2 : 治療後の睡魔に任せて楽に！！.....	7
3 : 後から良くなるから大丈夫！！.....	10
4 : 過労による頭痛・眼精疲労・腰痛・首痛・全身のむくみ.....	15
5 : 生活の乱れが原因となった腰痛.....	19
6 : テニスで痛めた肩から始まった腰痛と膝の痛み...	22
7 : 学生時代からの強い腰痛が、こんな軽い鍼刺激で・・・？ .....	26
8 : 寝違いから腰痛、そして歩けなくなる。.....	30
9 : 腰が痛くて、前かがみでなければ歩けない.....	34
10 : アトピー性皮膚炎・胃炎・十二指腸潰瘍・腰痛・首痛・足のだるさ、どこから手をつければいいのか？.....	39

## ❖ 1 : 治療した翌日は快調に！！

60代 女性

学生時代から現在まで、バレーボールの現役を続けてきている。

体力があるためか、身内だけでなく、近所の方の介護までも手伝ううちに、膝と腰を痛めてしまった。

病院に通い続けながら、何とかバレーボールを続けてきたが、知人の紹介で当院へ通い出し、鍼灸と整体の治療を4回ほど行い、完全に症状が消失していた。

今回2か月ほど、間隔が空き、久々の来院。

身内の看病で、バレーボールをする時間もなく忙しかったのと疲労で、全身が固まっているとのこと。

整体のみで、全身を調整し終了。

その1ヶ月後の来院。

「先生、ビックリ！この前、治療してもらったでしょ？あれで調子良くなったもんだから、次の日久々に練習に行ったの。そしたら、練習じゃなくて試合でね！！練習もしばらくやってなかったから、出る気なかったんだけど、無理やり出されて3試合もやっちゃったの！試合終わった後に、全員がつらいとか痛いとか言ってるのに、久々の私は、全くつらさも痛さも感じずに、次の日も筋肉痛にすらならなかったの。これって、やってもらったからでしょ？」

と、一気に話していただいた。

このようなことも良くあるのだが、前回は、まったく練習に行ける状況ではなさそうだったので、運動用の身体にしたつもりはなかったのだが、前回までにしっかり調整してあったのがよかったのであろう。

元々持っていた腰痛も膝痛も、最近では全く忘れてしまったようなところもあるし、いつまでも、元気でバレーボールを続けていってもらいたいものである。

## ❖ 2 : 治療後の睡魔に任せて楽に！！

30代 女性

頭痛、腰痛、足のだるさで通院中の患者さん。

初診時の治療後から、一切首と腰の痛みが出なくなったと喜んでいました。

その後、よくよく話を伺ってみたら、初回の治療後に、ひどい睡魔に襲われたらしい。

そして、この睡魔を治療が効いているものと思いつつも、仕事をしていたとのこと。

そのため、1週間経っても、この睡魔とだるさが取れず、非常に苦労したということだった。

しかし、眠さとだるさ以外にはつらい症状もなく、何とな



く過ごしているうちに、睡魔もなくなり身体も楽になって  
いったらしいのだ。

そこで、2度目の来院後（1ヶ月後）、やはり、同じような  
睡魔に襲われたため、仕事を休み丸二日間、眠り続けたら  
しい。

すると、3日目から、今までにないほど身体が楽で、疲れに  
くくもなっていて驚いたとのこと。

鍼灸や整体の治療直後には、骨格を変えたり、ツボに刺激  
を入れたことで、血流が改善したり、気の巡りが良くなっ  
たりするため、楽になった感じがする。

しかし、本来の効果というのは、この後に起こることが少  
なくない。

骨格や血流が変化したことを、脳が理解する（これが体調



の良い状態なんだ！！と) 必要がある。

さらに、ツボへ入れた刺激が、一旦脳の中で整理され、どう身体を変化させればいいのか考える時間が必要なのだ。

そのために、睡眠が必要であり、治療後数分から数時間経って、急に眠くなってくることがあるのだ。

この反応が、身体が、治療の刺激を受け入れ、良い方向へ変化させるための時間を作ろうとしているものなのだ。

従って、この反応を無視して、睡眠を取らずに仕事をしたり、遊んだり、アルコールを飲んだりしてしまうと、治療の効果が半減してしまうのである。

身体の反応には敏感に対応してあげるのが、健康を保つ秘訣というところだろうか。

### ❖ 3 : 後から良くなるから大丈夫！！

30代 女性

2年ほど前から、通い続けている患者さん。

当初は、7～8年も通い続けたマッサージ屋さんに、「あなたの肩こりはもう治らない！！」と言われてしまい、「マッサージでダメなら整体かな？」と思い、当院へ通い始めたらしい。

私の診立てでは、「固いのは固いが、筋肉の質は非常に良いため、軽いマッサージだけでも十分にほぐれそうだ！」と、今まで受けていたマッサージ師の誰とも意見の食い違う見解を示していた。

その一カ月後には、全ての疑問が吹き飛んだようだ！！

そう、今までつらかった症状が全てなくなったからである。

そして、ずっと苦しみ続けていたこともあり、もう二度とつらくなりたくないと思い、いまだに1か月に1度定期的に通い続けている。

そして今回、久しぶりに寒さのせいか、肩こりと腰に違和感を感じての来院だった。

いつもの通り、軽めの整体を行い治療を終え、「肩と腰の感じはどうですか？」と、尋ねてみると、「すいません。私、鈍感なのか、いつもすぐは楽に感じないんですけど、しばらく経って気付くと、「あっ！楽になってる。」って感じなんです。だから今回も大丈夫だと思います。」と、笑顔で答

えてくれた。

この方のような感覚が、本来我々の治療には必要な感覚なのではないだろうか？

なぜなら、その場の気持ちよさを追求してしまうと、本当の治癒ということには結びつかず、意外とすぐに戻ってしまうことになる。

しかし、その場では成果が出なくとも、数時間から数日後に症状が軽快してくれば、脳が治す方向性を見つけたことになる。

そう、自然治癒力が作動したということになるのだ。

従って、治療の方向性が間違いでなかった証明にもなる。

本来、整体治療も、鍼灸などのツボ治療でも、その場の刺激で気持ち良くなるのではなく、脳がその刺激を受け、治す方向性を見つけだすものである。

治療家は、その方向づけをすることで、患者さんの本来持っている自然治癒力を作動させることにつながるのだと思う。

しかし、西洋医学にドップリ浸かってしまった日本人には、注射や薬などのように、その場で変化を示せなければ、「よし！」としない風潮がある。

そのため、自然治癒力が活動しにくくなっているともいえるだろう。

どちらの状況が、幸せかは、人それぞれ違う見解があるだ

ろう。

しかし、もし万が一、今の科学が使えなくなるような、世の中が来てしまったらどうなってしまうのだろうか？

恐らくパニック状態に陥るだろう。

しかし、大昔を振り返れば、科学などはなく、元々自然治癒力で治せていたのである。

我々人間が持っている、生命力をうまくコントロールするのは、科学ではなく自分自身にあるのではなかろうか？

## ❖ 4 : 過労による頭痛・眼精疲労・腰痛・ 首痛・全身のむくみ

40代 女性

半年ほど前から、頭痛が始まり、鎮痛剤を飲むと楽になっていたのが、ここ最近は何でも楽にならず来院。

まず、うつ伏せで全体のチェックを行うと、全身がむくんでいる。

これは、本人も気にしてはいたが、どこに診せればいいのか分からず放置していたとのこと。

全身のむくみは過労状態を現わすため、脈も弱弱しいはず。



ここで、脈の確認を行うと、微かに触れる程度の、弱い脈をしている。

この状態であれば、頭痛の治療よりもむしろ、全身の疲労を取り除くことを優先しなければ、益々症状はひどくなることが目に見えている。

ということで、患者さんに説明しながら、疲労回復のため、全身へ棒灸を行う。

棒灸でむくみが流れ始めると、腰と首に問題が現れ始めた。

腰痛は20年以上も前から持っていて、首から肩の痛みもこの2～3年つらかったとのこと。

いろいろな症状を抱えながら、適切な処置を行うことなく、

ここまで来てしまい、仕事の忙しさも加わり、全身疲労から過労へと進行していったのが理解できた。

そのため、疲労が回復したのちには、腰痛も首痛も完全に  
取り除く方向で、治療を進めることにした。

2週間に1度のペースで、2回棒灸のみの治療を続け、3回  
目の治療では、ほぼ、むくみが取れていたもので、鍼を使い  
全身のバランスを整えた。

そして、初診から2カ月後の4回目の来院時では、ほぼつ  
らい症状がなくなっており、微調整のみで治療を終えると  
ころまできた。

この患者さんは、元々スポーツをたくさんこなしてきてい  
たため体力には自信があった。

そのため、疲労が起こっても寝れば大丈夫という、体育会系にはよくある精神を使ってしまい、身体を酷使してしまっていた。

一度過労で倒れてしまうと、体力回復には相当な時間を要してしまいが、倒れる前に治療ができたため、意外に回復する時間が短く済ませることができた。

しかし、一度でも、過労状態に追い込んでしまったからには、これからの生活を改めておく必要があるだろう。

まずは、疲労をためない生活をするのである。

そのためにも、睡眠時間の確保を優先してもらいたいものだ。

## ❖ 5 : 生活の乱れが原因となった腰痛

30代 女性

1週間ほど前から、お尻の少し上左側に痛みが走るようになり、少し動かすだけで《グキッ!》といきそうな感じということで来院。

横になっている分には、痛みが出ることはないらしいが、少しでも寝返りを打ったり、身体を動かそうとするとやばいとのこと。

まず、うつ伏せで、全体のチェックを行うと、下半身になりむくみが溜まっていることがわかる。

しかし、上半身には、それほどむくみが溜まっていない。

このような状態は、ホルモンバランスが崩れた時に起こることが多い。

原因は、子宮や卵巣の異常か、睡眠不足のどちらかである。

子宮や卵巣の場合、病気の可能性もあるし機能だけが狂っている場合もある。

また、睡眠不足の場合は、何時間寝たか？ということよりも、何時から何時まで寝ていたか？ということが大事。

その時間は、夜の10時から、朝2時までの間に熟睡していることが重要となる。

現在、都心に住んでいて、働いている人であれば、かなり難しい時間帯である。

しかし、人間の身体は、自然の元に生まれたため、自然の流れに逆らうことができない。

太陽が昇っているときに活動し、月が昇っているときには静寂（睡眠）をとるように育ってきたのだ。

けれど、電気の普及により、夜中でも明るいのが都心の問題点である。

## ❖ 6 : テニスで痛めた肩から始まった腰痛 と膝の痛み

40代 男性

週に一度、趣味でテニスをしている。

その影響で、いつからか右肩が痛くなったとのこと。

今回は、この右肩ではなく、左腰と左膝の痛みを治したい  
来院。

腰痛は、おそらく仕事で重い荷物を持ち上げた時に痛めた  
らしい。

そして、その腰痛をかばって歩いていたせいか、最近膝が



外れるような感じで痛みが出るようになったとのこと。

右肩の痛みは、そのついでに診てもらえればという感じのようだ。

まず、うつ伏せで全体をチェックすると、何やら複雑な歪みがある。

慎重にこの歪みの出所を探していくと、どうやら右肩の問題が始まりであるようだ。

従って、右肩の歪みを取り除かないことには、腰痛や膝痛の改善はその場限りのものになってしまう。

そこで、肩の歪みを取るように、腕へ鍼を刺していくと、右肩をかばっていた左首と肩の緊張が現れ始めた。

次に、この左首と肩の緊張を取り除くと、ようやく左の腰に反応が現れ、最後に膝の治療という流れになった。

これで、立ち上がってもらおうと、すでに楽だという。

確認のために、肩、腰、膝などをしっかり動かしてもらっても、痛みはないようだ。

腰痛の原因が、重い荷物を持ったからといっても、調子が良い時は、痛みが出ることはないだろう。

しかし、荷物を持とうとした時に、腰に歪みがあったり、筋肉が固まっていたりしたらどうだろう？

痛める可能性は高くなる。

そして、右肩が痛い状態で、テニスをするとうなるか？

ラケットを振るときに、なるべく右肩に負担がかからないように、左腕や左の腰が代わりに動作するのではないだろうか？

従って、長い間、左の腰に負担をかけるようにテニスをしていて、その疲れが溜まっているところで、たまたま重い荷物を持ち痛めてしまったと考えると、理解しやすいのではないだろうか？

いくら痛みが強いといっても、痛いところばかり診ていては、治療にならないといういい見本となる症例だった。

## ❖ 7：学生時代からの強い腰痛が、こんな軽い鍼刺激で・・・？

40代 男性

学生時代に柔道やスキーで腰を痛め、それからはずっと腰痛持ちということ。

そのため、今まで、鍼、マッサージ、カイロプラクティックなど、いろいろな治療法を試してきた。

しかし、どれもスッキリすることはなく、結婚してからは、妻に鍼灸師の資格を取ってもらい、専属で治療してもらっているほどつらいらしい。

この方は、病気も多く、常に薬を飲んでいるということも

あり、腰の状況よりも脈を安定化させる治療を重視することにした。

うつ伏せと横向きの体勢で、それぞれ脈を整え、その後筋肉のバランスを取るように鍼を行い、最後に手足を動かし、全体が連動して動けるように鍼で調整を行った。

これで、立ち上がってもらおうと、起き上がりながら、「不思議ですねえ！こんなに優しい治療は今まで経験がなかった。鍼ってというのは、中でグリグリやるのが良いと思っていたのに、先生は、全くそんなことしなかったですよ？それなのに、楽になっている。不思議だあ！！！」と、終始不思議がりながらも満足げな表情であった。

今回のケースは、元々学生時代に痛めた腰痛というよりも、その腰痛に対する治療により筋肉や関節に問題が起き、痛

みが出ていたものようだ。

鍼やマッサージで強刺激をすると、筋肉や細胞が固まってしまい、その固さが血行障害を起こし、疲労物質が溜まってしまい痛みを起こしたものが一つ。

もう一つは、上記で起こった筋肉の緊張により、骨が傾いてしまったものを歪みとし、カイロプラクティックやボキボキ整体で矯正してしまったことで、捻挫を起こし、骨を支える靭帯が伸びてしまい、筋肉の支えが効かなくなってしまう痛みが出ているものが、重なって起きた症状であるようだ。

腰部の捻挫により、自律神経が乱れたことで、大腸や腎臓、膀胱などの病気を引き起こしてしまったことも理解することができた。

長年持っている症状に対して、いろいろな治療方法を試みていると、それぞれのメリットとデメリットが出てくる。

メリットは、その場の気持ちよさや一時的に症状が消失することであるが、デメリットは、上記で上げたように、筋肉が固くなったり、靭帯が伸びたり、捻挫やヘルニアなどの怪我に結びつくことがある。

従って、ある症状を長く持っていれば持っているほど、細かくチェックしていかないと、しっかりと治すことができないということが理解できるだろう。



## ❖ 8 : 寝違いから腰痛、そして歩けなくなる。

70代 女性

2か月前に、首を寝違え、整骨院にてマッサージを受ける。

直後から、腰も痛くなり、同じく整骨院でマッサージを受ける。

1ヶ月後には、太ももとふくらはぎが痛くなり、歩けなくなり、整形外科を受診。

「腰に一か所狭くなっているところがある。」と、処方された薬を毎日4錠ずつ飲んでいる。

しかし、症状は一向に変化なく、痛みは増すばかり。

どうにかならないかと、知人紹介で来院。

まず、身体のチェックを行うと、確かに痛みを感じている  
ところの反応は強く現れている。

しかし、それ以上に全体的に疲労が溜まっているようだ。

そこで、棒灸を使い疲れを取り除いていくと、あっという  
間にむくみが抜けてしまった。

年齢的には、驚異的な回復力である。

これは、何か運動をしてないと、得られない反応である。

この辺りを訪ねて見ると、何とこの患者さん、半年以上前から山道を毎月10～15km歩く会に所属しているとのこと。

そして、痛みが出てからも当然のように歩いていたというのである。

それであれば、痛みがどんどん増えるのもうなずける。

結局、痛みを治すための休息よりも、運動を取ってしまったことで、疲労の蓄積が甚だしくなり、次から次へと痛みが現れてしまっていたのだ。

それでも、毎月確実に運動をしているおかげで、回復力は高い状態をキープできていたようだ。

しっかり休んでいれば、これほど苦しまずに済んだと思う  
のだが・・・？

お灸の後には、整体で身体全体のバランスを整え、立ち上  
がってもらおうと、あっさり症状は消失してしまっていた。

このような方は、生活のサイクルや食事のバランスさえ整  
えることができれば、まだまだ元気に生活できるタイプで  
ある。

ところが、その生活や食事を気をつけることが、一番難し  
いようだ。

長年馴染んでしまったものを変えるというのは、誰もが苦  
しいと思うが、そこを変えれば元気になれるというのであ  
れば・・・？

## ❖ 9 : 腰が痛くて、前かがみでなければ歩けない

60代 女性

元々、腰椎すべり症を持っていて、腰痛は常にある女性。

しかし、この半年間ぐらいで、急に腰が伸びなくなり、前かがみにならないと歩けなくなる。

また、立ち上がる時に、必ず「よいしょ！」と言わなければ立ち上がれなくなった。

まず、うつ伏せで背中を診てみると、やはり腰は伸びない様子。

これは、腸腰筋が縮んでいる証しである。

腸腰筋は、背骨の前側から股関節の内側へつながる大腰筋と、骨盤の内側から股関節の内側へつながる腸骨筋の二つを合わせたもの。

この筋肉は、身体や脚を前に動かすための筋肉である。

そのため、中腰や座りっぱなしの体勢で、長時間何らかの作業を行っていると、固まってしまふことが多い筋肉なのだ。

この方も、長時間座りっぱなしという仕事が、この一年多くなっていたとのこと。

そこで、腸腰筋を緩めるようなストレッチをメインに整体を行った。

そして、2週間後、もう一度同じような整体を行うと、それ以来、「よいしょ！」と言わなくても立てるようになった。

さらに、周りの人からも「背が伸びたみたいね！」と言われるようになるほど、腰を曲げずに済むようになった。

このような腰痛は、デスクワークが多くなった昨今、急激に増えているタイプである。

普通のぎっくり腰であれば、何日か安静にしていれば、勝手に痛みはなくなる。

しかし、このタイプの腰痛は、一旦発症してしまうと、何年も痛み続けることが少なくない。

それは、安静にしている方も、腰を曲げている方が楽だから



である。

腰を曲げて安静にするということは、腸腰筋が縮んだ状態でい続けるということ。

従って、安静にしているにもかかわらず、発症するメカニズムと同じことを続けているため、なかなか治らないのだ。

では、どうすればいいのか？

どんどん動くことである。

しかも、ラジオ体操のように、いろんな方向へ身体を動かす日課を作る必要があるのだ。

これさえできれば、このような腰痛になる心配もなくなる。

また、発症してしまった人でも、運動を続けていけば自然

と治ってくるものだ。

従って、腰痛を治すには、安静にしたほうがいいタイプなのか？動いたほうがいいタイプなのか？見極めることが重要になってくる。

見極めが難しい場合は、3日ほど安静にして、症状がどう変化してきたかを見ればわかる。

良くなってきた場合は、もう少し安静を続ける。

何も変わらない場合は、思い切って動くことだ。

この流れがわかってくれば、ぎっくり腰もそれほど怖くないだろう。

問題は、見極めがちゃんとできるかどうかだ。

## ❖ 10 : アトピー性皮膚炎・胃炎・十二指腸潰瘍・腰痛・首痛・足のだるさ、どこから手をつければいいのか？

30代 女性

小さい頃から、アトピー性皮膚炎・花粉症・喘息・胃炎・十二指腸潰瘍・腰痛・首痛・寝違い癖・足のだるさなどを持ち合わせている。

半年ほど前から、西洋医学に限界を感じ、東洋医学へ方向転換し始め、まずは、漢方を飲み始めているとのこと。

しかし、症状は変わらず、1か月に何度か寝違いを起こし、それ以外の症状は、いつ出てもおかしくない状況だとか。

まず、全体のチェックを行うと、アトピーの症状は、上半身のみで、下半身には出ないらしいことがわかる。

この事からわかることは、胃炎があり、胃に炎症があるということは、そこから上に熱が上がる。

従って、興奮性の症状が、上半身（花粉症・喘息・頭痛・寝違い癖）に多く出ていることがわかる。

そこで、熱を上方へ行かせないように、下半身を強化するため、最も下半身に弱いところを探してみる。

すると、足の裏にあるポイントで、胃と気管支に対応している場所が、非常に弱くなっていることがわかった。

しかも、ここは、長時間歩行していると痛くなる場所でもあるらしい。

そこで、徹底的にこの場所の力を補うように、お灸を行う。

さらに、上半身に、興奮性を出してしまいやすい臓器である、胃と肝臓の調整も並行して行った。

一回目の治療はこれだけであったが、一カ月後の二度目の来院時には、

「この一ヶ月間は、いつも以上に忙しくて、大変だったにもかかわらず、首も腰も楽で、一度も寝違いにはなりませんでした。」とのことであった。

さらに、前回の治療中に、「足のこの辺がだるくなりませんか？」と、すねの外側を指して尋ねてみたが、その時は気にしてなくてわからなかったようで、「先生が言っていた場所、やっぱりだるくなります。いつも全体がだるいと思っていた

けど、言われてみて初めて気付きました。やっぱり胃なん  
ですね！」

ということで、足のすねの外側にある筋肉のふくらみは、  
胃腸の反応点でもあり、この場所を触るだけで、ほぼ胃腸  
の状態が確認できてしまう、重要な場所なのである。

従って、この方の治療には、胃腸を徹底的に改善する必要  
があり、そのためには、漢方の力が必要であった。

その漢方は先行して行っていてくれていたのが、今回の早  
期改善につながったのだろう。

もっともっと、東洋医学が普及することで、このような多  
くの症状を抱えている人を、少なくすることができると思  
うのだが・・・。

# もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、  
全102ページ、販売価格1,980円

## あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを無料でプレゼントさせていただきます。  
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。  
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。  
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。





作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス  
キュアハウス鍼灸治療院  
院長 中村幸生